

高校入試合格発直後から高校入学式までの過ごし方  
—高校の勉強は「予習中心」に—

開倫塾  
塾長 林 明夫

1. 入学する高校が決まり、学校から教科書を頂いたらどうするか。高校1年のすべての教科書を、声を出してどんどん読むことをお勧めします。
  - (1) 声を出して読むことで、高校1年生で何を勉強するかを知ることができるからです。
  - (2) 但し、数学だけはノートを1冊用意して、要点をノートにメモしながら問題をどんどん解いてみましょう。できない問題は、スルー、飛ばしてもOKです。
  - (3) ゴールデン・ウィークが終わるまでに、できれば全教科、好きな教科だけでも高1の教科書の予習を終了することが、高校でよい学校成績を取る「ポイント」です。
2. 「英語」は
  - (1) CDを買い、スラスラよく読めるようになるまで「シャドウイング(CDに合わせて、テキストを見ないで読むこと)」をすること。
  - (2) よくわからない語句はすべて辞書で調べること。書き取り練習も完璧に。
  - (3) 文法事項も大切に。パターン練習をきちんと行い、高校文法を正確に身に着けることが一生役に立ちます。
3. 「数学は」
  - (1) 「教科書ガイド」を参考書代わりに、すべての問題に挑戦。
  - (2) なぜそのような解答になるかを論理的、分析的に考えながら、「教科書ガイド」を写し続けること。
  - (3) 何も見ないで教科書のすべての問題を解けるようにすることが、「予習」の目的。
4. 「国語」は
  - (1) 教科書に出ている語句で意味の難しいものは、「辞書」を引いて引いて引きまくること。
  - (2) 教科書にあるすべての「漢字の書き取り」を。
  - (3) 「教科書」にのっているすべての著作を「原文」で全部読むことにも挑戦を。気に入った作者は図書館で全集を探し、高校時代に全部読む。
5. 「予習に遠慮は一切不要」
  - (1) 大学の内容まで一気に突き進んで初めて予習と言えます。
  - (2) 大学受験勉強は、受験科目だけでも大学1・2年の内容まで十分に理解し、身に着けることです。
  - (3) どんどん「予習」をしてください。

—2018年3月10日(土)—